平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	農業振興課
２３ ※記入不要		

要望問題

防根シート等を用いた簡易隔離栽培方法の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

臭化メチル全廃により様々な土壌病害の防除方法が検討されており、一定の成果も発表されつつある。

その一方で、ほ場の状態により新しい土壌消毒方法を施用するのに困難な場面もある。そこで、消毒する領域を小さくするとともに、その状態を長く維持するため、防根シート等を用いることで根域を制御し、病原菌にふれなくなるような簡易タイプの防除方法を確立することを目指す。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：農業環境部	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

環境負荷の少ない土壌管理技術の確立

対応の内容等

上記の課題で、現在カーネーション栽培における熱水土壌消毒と根域制限栽培の組み合わせについて検討を行っていますので、カーネーションに関してはこの課題で対応します。

また、神奈川県の中心作物であるトマトやキュウリについての根域制限栽培を用いた土壌病害虫の防除技術としては、トマトにおけるネコブセンチュウおよび褐色根腐病に対する効果について千葉県農業試験場が、キュウリにおけるネコブセンチュウおよびつる割病に対する効果について群馬県園芸試験場が、効果が高いという情報を出しています。情報は随時提供いたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	